



静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

epooca

・地元のハンサムウーマン〜地域力を高める女性たち〜
海野 フミ子さん アグリロード美和代表（静岡市）

・男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体
三和事務機株式会社（浜松市）

・あざれあ図書室ブックサポーター^{④7}
新しい本からピックアップ！

・令和2年度
「ねっとわあく」編集員募集のお知らせ

・あざれあ相談のご案内

静岡県男女共同参画センター・あざれあ

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL : 054-250-8147 FAX : 054-251-5085 e-mail : info@azarea-navi.jp

URL : <https://www.azarea-navi.jp/>

編集・発行：あざれあ交流会議グループ

地元のハンサムウーマン ～地域力を高める女性たち～

海野 フミ子さん（アグリロード美和代表／静岡市）

農家女性の自立をうながす

「やればできるよ」と、嫁さんたちを引っばる

戦後まもなく静岡市内の農家に生まれ育った海野フミ子さんは、「その頃の農家のお嫁さんは、お金も地位も自由も、な～んにもなかった。ただただ農家の労働力でしかなかった。自分名義の通帳をもつことも許されなかった」と、言う。そのような農家の女性を身近に見て、生活改善をしないと女の人は大変だ、なんとかしなければと思ったことが、海野さんの出発点である。

茶農家に嫁いだ。「今思うと、なるほど、意味があったんだとわかるけど、若いころ、姑の厳しさがつらかった。周りの嫁さんも同じね」。なんとかしようと始めたのが「若妻会」。

姑には渋い顔をされたが、夫に励まされて、近隣の若妻たちを集めて、息抜きのバレーボール大会を開いた。楽しかった。それに味をしめて、町内会女性部でお寺を会場に「お茶会」を。男性からは、「女のくせに、何考えてるんだ」と批判する声もあった。が、女性たちはお茶会を通して学び、徐々に自信をつけていった。「私は、住んでいる所に違う風を起こしたかった。やれば確実に何かが起こるんです」。何か行動を起こし、成果が現れ、さらなるものにつながって広がっていく。これが、海野さんの一貫してぶれない信条であり、いまにつながっている。



海野フミ子さん

女性はたくましい！



販売所の奥にある作業所で、人気総菜や弁当が作られていく

平成8（1996）年、JAの女性部加工所として「アグリロード美和」を開設、代表になる。新鮮野菜、手作りの総菜・加工品が並ぶ。男の人たちに、“なんだ！ 女が集まって遊ぶのか”と言われた。しかし、自信のついた女性たちは、男性の声を馬耳東風と聞き流し、嬉々として働いた。わずかずつだが、お金がもらえた。自分名義の通帳をもった。それは、画期的な出来事だった。「何が変わったかって、いままでもらい物のお古を着ていた人が、自分で稼いだお金で好きな服を買う、化粧品を買う。みんなきれいになった。明るくなった。やっと農家の女性が経済的・精神的に自立したんですよ」

女性たちが変わった。そして、男性も変わった。「うちの夫、な～んもできない人だったが、私が外に出るようになったら、洗濯したり自分の昼食を作ったり、自立しました」と、海野さん。たしかに、何かやれば、何かが起きる！ 変わる！ いまや、男性は応援団。

農業が疲弊・高齢化している。が、退職をした子どもがあとを継ぐケースが増えている。「捨てたもんじゃあない。農業はつながっていきます。アグリロード美和も、地道な努力を積み重ねていきます。これは、私の性格そのものですね」。来年、25周年を迎える。

「アグリロード美和」受賞の歴史

- 平成14年 男女共同参画知事褒賞受賞
- 平成17年 農林水産功労者表彰
- 平成19年 内閣府女性のチャレンジ賞受賞
- 平成26年 生産者と消費者で作る「生消菜言（せいしょうなごん）弁当」が、農林水産大臣賞 受賞
- 平成27年 ふじのくに食の都貢献賞受賞など



開店直後はレジが混みあう

性別・年齢など関係なく、自然に楽しくはたらく

OA 機器・オフィス家具の提案など行っている三和事務機 (株) の社屋に入る。書類ファイルが詰まった棚、ものがあふれるデスクといった見慣れた会社風景が、ない。ぜい肉をそぎ落としたシンプルな空間が、広がっている。

社員にマイナス思考が多くなっていることに気づいた社長の鈴木研さんは、2017 年から組織改革に着手、余分なものを捨てるなどの見直しを始めた。まず、事務所内をシンプルにして、フリーアドレス (オフィスに社員の固定席を置かず、自由な席で仕事をする仕組み) に。自分の専用デスクは、ない。席は、毎朝番号のついた割りばしを引いて決める。鈴木さんもくじを引き、社員と隣り合わせで仕事をする。今日の席はどこ？ 毎朝、ちょっとした緊張と期待で 1 日が始まる。自由空間の中では、差別がない。みんな同じ。



「そのころ営業で入社した吉田美和子さんが、子どもが保育園に行っているので午後 5 時 30 分には帰りたい、っていうんです。だったら、仕事先から帰りなさい。朝も会社に来ないで直仕事に行きなさい。直行直帰 OK、テレワークも OK にしました。社員誰もがこのシステムを利用しています。この先鞭を切ってくれた吉田さんは、貴重な存在ですよ」



1 階フリースペースは、仕事をする人、打ち合わせをする人、くつろぐ人—それぞれの思いが交差する場所だ

するのは、社員ですから。自分たちの仕事の仕方は、自分たちで考えてもらいたいですね」と、社員みんなの考え方を尊重する鈴木さん。近々、社内チャレンジミーティングで話し合われる予定だ。



2 年前から始めた働き方改革で、営業利益は前期比 10% アップ。「ここまで効果がでるとは、思わなかった」と言う鈴木さんと共に、『しごとを楽しもう！』をモットーに、三和事務機 (株) は、男女を問わない働き方を模索し続けている。

「たくさん視察の方が来ます。あなたも、ぜひ、おいでください」

貴重といわれた吉田さん、「子どもが小さい時、本当に助かりました。直行直帰は生産性が高いです。自分の働き方を変えることで、相手に合わせることができます。社長って朝は会社にいるから、自宅から直に出かけて行くと会えて、契約につながるがあります」

テレワーク中は、テレビ会議のシステムが導入されており、働く子育て中の女性にとっては、うれしい環境整備である。今、女性社員たちは、「〇〇休暇が欲しい」と声をあげている。「これまで、産休・育休や介護休暇が必要な社員がいなかったの、なかった。これは、会社の規約として決めるのではなく、社員同士で話し合っ



社長の鈴木研さん

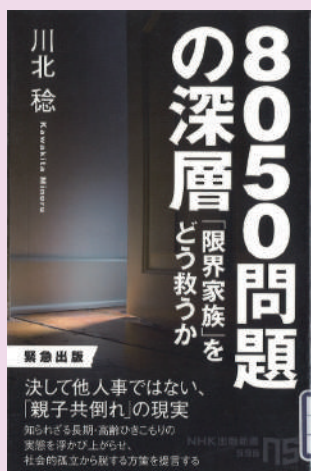
ブックサポーター 47

新しい本からピックアップ！

『8050 問題の深層「限界家族」をどう救うか』

(川北稔 NHK 出版 2019 年)

80 代の高齢の親が 50 代の無職やひきこもり状態の子どもを抱え、孤立したり経済的に困窮する「8050 問題」が指摘されています。本書では、8050 問題の実態やひきこもり支援の流れを紹介するとともに、課題や家族観の限界について論じています。



『たまごちゃん、たびにでる』

(フランチェスカ・パルディ || 文 フランチェスコ・トゥーリオ・アルタン || 絵 イタリア会館出版部 2013 年)



生まれてどんな“家族”のもとへいくのか不安なたまごちゃん、いろいろな家族に会いに出かけます。ママうさぎとパパうさぎと子うさぎの家族、2 人のママねこと子ねこの家族、ママかばと子かばの家族……。さまざまな家族の姿がわかりやすく描かれています。



あざれあ図書室 利用案内

貸出：図書 5 冊、ビデオ・DVD 2 本 (2 週間)
開室時間：月～金 9:00 ～ 18:00 土日祝 9:00 ～ 17:00
休室日：第 1・3・5 日曜日、図書整理日
TEL：054-255-8763 FAX：054-255-8759

令和2年度 男女共同参画の今を知る情報誌「ねっとわあく」編集員募集

誰もが性別にかかわらず、自分らしく暮らせる男女共同参画社会の実現に向けて情報誌をつくってみませんか？読者は静岡県の皆さんです。あなたの記事で、静岡の男女共同参画社会の実現を目指しましょう。

●応募条件

- ・ジェンダーに関心があり、男女共同参画の視点から取材および記事作成が行えること。
- ・自宅にパソコン環境があり、メールの送受信が可能であること。
- ・ワード等を使って、文章作成ができること。
- ・編集会議に参加できること。

※会議は平日昼間に年10回程度実施予定／会議日程は編集員のスケジュールを確認してその都度決定

※「ねっとわあく」は年1～2回発行予定です。

●任期 2020年5月頃～2021年3月 【募集人数】若干名

●謝金 40,000円程度（会議半日出席につき2,000円）※別途、会議や取材などの交通費支給

●応募方法

応募用紙と課題作文を、郵送・FAX・メールのいずれかでお送りください。

- ・応募用紙は下記「あざれあナビ」の編集員募集ページからダウンロードしてください。

●課題作文

下記①～④から1つを選び、作文を書いてください。※1000文字以内

- ①「防災における男女共同参画について」／②「女性活躍について」
- ③「男性にとっての男女共同参画について」／④その他「あなたが関心のある男女共同参画について」など

●お問合せ・応募書類送付先

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

NPO法人あざれあ交流会議 令和2年度『ねっとわあく』編集員募集 係

TEL 054-250-8147（平日9～18時）／FAX 054-251-5085／メール info@azarea-navi.jp

●ほか詳細・応募用紙ダウンロードは「あざれあナビ」まで →→→ <https://www.azarea-navi.jp/>

募集締切
令和2年
4/15 (日)
必着

あざれあ相談

悩んだとき、困ったときは、あざれあへ

女性相談

女性が抱える様々な悩みについて、女性相談員が対応します。



0558-23-7879 賀茂／055-925-7879 東部

054-272-7879 中部／053-456-7879 西部

※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

月・火・木・金 9:00～16:00

水曜日 14:00～20:00

第2土曜日 13:00～18:00

※いずれも、日・祝を除く

DV その他暴力に関する相談

(予約制面接相談)

月・木 10:00～15:00

水 14:00～19:00

まずは電話相談におかけください。

男性相談

生き方・家族・仕事・健康等の悩み、男性相談員が対応します。

専用電話 054-272-7880 毎月第1・3土曜日 13:00～17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。
※第1・3土曜日が休館日の場合、次週の土曜日に実施します。